

赤江地区民 みんなの合言葉

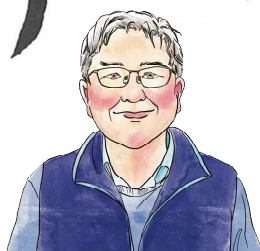
- 気持ちのよい あいさつを交わしましょう
- ごみを拾って きれいな町にしましょう
- 青少年の非行を防ぎましょう

赤江交流センター発行 TEL・FAX(0854)28 - 8982
メールアドレス akae.cs@city.yasugi.shimane.jp

赤江 公民館だより

No.146 令和5年 6月号

館長のよもやま話



5月というのは、この赤江の農家にとって一番忙しい月だと思っています。我が家のイチゴ栽培も共販が5月末までで、私は「後、何日」と数える日々でした。6月になると代かき、田植えと続きます。田植えも終わり、趣味の野菜づくりと花づくりがやっとできるようになりました。

交流センターでも様々なイベントが始まりました。その前に、5月25日(木)に安来警察署主催の「警察連絡協議会」に出席しました。その時に、前回5月にも書いた信号のない横断歩道での事故の話もありました。併せて、こんな実験も見ました。ビニール袋に入れた豆腐を1メートルの高さから落とすと「ぐちゃぐちゃ」となりましたが、ヘルメットに入れた豆腐は崩れていませんでした。ヘルメットの重要性を感じました。

、昨年度は平日開催したハイキングを今回は日曜日に設定し、28日(日)『安田要害山と母塚山』の縦走を行いました。上は85才、下は小学生と幅広い年齢の24人の方々に参加いただきました。かなり急な下り坂や上り坂などがあり心配していましたが、皆さん元気で帰ることができました。ちょうどその日は、美保基地の航空ショーがありましたが、帰りのマイクロバスの中で、ブルーインパルスのスモークリングも無事見ることもできました。



要害山山頂にて

29日(月)に3年ぶり?となる「男の食卓(料理教室)」があり、主催している方から勧められ、私も参加しました。今回は、タマネギをベースとした料理でした。うかつにもいただいたレシピを無くしてしまい、詳しくは書けませんが、初めて「タマネギご飯」を担当し、食べました。他にも、サラダや鶏肉を使った料理にデザートと並みの定食以上の



料理教室の様子

料理を作りました。ご指導いただいた先生の話をおそらく理解しないで調理に挑戦していた受講者だと、私を含めて反省しています。残念ながら、我が家では、今だその料理を家族に提供はしていません。

6月に入り、1日(木)、「赤江小学校の授業参観」に出かけました。私自身の記憶では、小学生の頃はあまり勉強しなかったことしか思い出せないのですが、皆さん、本当に熱心に取り組んでおられました。今は英語の授業もあります。また、電子黒板を使った子どもたちへの授業など、過去教員をしていた私にはいい時期にリタイアしたものだと感じています。先生方の苦勞も感じたいです。



3日(土)、健全育成協議会主催の『ちまきづくり』を行いました。今回は、前日に、ボランティアの方に笹の下準備していただいたお陰で、当日はスムーズに体験していただきました。また、うれしいことに3名のお父さんにも

挑戦いただきました。私は、残念ながら作り方をすっかり忘れて、何の力にもなれませんでした。参加された皆さんは素晴らしい「ちまき」を作ることができました。ボランティアでご協力いただいた皆さんのお陰だとの感謝しています。こうした伝統的なことを伝える努力は、我々には必要かとも思いました。我が国の文化として、クマザサを使った笹まき、サルトリイバラ(たたら)の葉や山のない赤江ではススキの葉、関東では柏の葉を使った「柏餅」など様々な葉を活用して作られていたと聞きました。

こうした伝統食品を作る体験の必要性を感じています。これは、自然の葉を活用する点でまさにSDGsの一つだと思います。我が国は伝統的にこうした生活をしてきたとも思いました。

5日(月)、「めだかクラブ」の開講式に併せて、恒例の『田植え体験』を行いました。寿朗会の皆様のご協力で今年も無事におこなうことができました。今年は、試験的に、我が家にあった「空中田植え」(説明が難しいのでやめます)方式の苗を作り、使ってもらいました。自己



田植えの様子

満足ではありますが、子どもたちにとって植えやすいのかと思いました。来年は何とかこの方法で行えないのかと思っています。それにしても、本当にご協力いただいている寿朗会の皆さんあってのことと思っています。感謝の限りです。今、稲作を個人で行っている我が家のような農家にとって、労働や資金の面からいうと全く儲からないという状況にあります。先祖代々田畑を守っていかねばと思う気持ちは過去のものでしょうか。

さて、12日(月)には、7月8日(土)に予定している『健康体操』について、指導いただく方との打合せを行いました。昨年度までは、6月に地域の身近なコースのウォーキングを実施していましたが、健康会議の中で、天候の具合で中止したこともあるとの意見を受けて、今年は初めて、屋内でもできる企画ということでこの『健康体操』を試行することといたしました。前回、回覧した内容では十分に伝えられていないことと思い、少し補足します。回覧した内容からすると第一線で働いている方を対象とするような印象を持たれた方もおられるかと思いますが、講師との話しの中で、参加された年齢に対応し、椅子等を活用しながら、それぞれの体力に応じた内容を入れるとのことでした。最後には、希望者に対して個別のご指導もいただけるとのことでした。年齢に問わず、幅広く参加いただけることを期待しています。私も悩まされている、肩こりや腰痛にも効果が期待できるトレーニングも紹介いただけるとのことでした。男女、年齢を問わず、お集まりいただければと思います。

やってみよう『健康体操』

- 日時 7月8日(土)10:00~11:30(9:45 集合)
- 場所 赤江小学校体育館
- 持ち物 体育館シューズ、飲み物、タオル※運動できる服装で参加
- 講師 合同会社イチロ(整体院みちるべ)
- 申込 7月5日(木)までに交流センター(TEL 28-8982)へ申込
- 代表 荒木 直人さん(理学療法士)



最後です。先日、交流センターの東側の飯梨川にある広場のあることはご存じでしょうか。その場所を管理されている方からのお話を聞く機会がありました。もう随分長く管理され、今も草を刈るなど管理いただいています。私も時々、その広場で遊んでいる親子や犬を離し、駆け回っているところを見たことがあります。その方が管理作業をしいてる時、ひとつに、トラックで川辺に横付けし、大量の砂を積んでおられる方(河川法)、ゴミの不法投棄、さらには、捨て猫(動物保護法)などがあったそうです。すべてが違法行為であることは皆さんもご承知のことと思います。お話をされた方は、自分にはそれを指摘する立場ではないとも言われ、ただ日ごろ管理している者の一人として寂しい限りだとお話されました。この赤江の象徴的な「飯梨川」の河川敷が赤江町民にとって、誰もが楽しめる場となればと感じました。毎年夏には、皆さんの協力で「飯梨川土手一斉清掃」に沢山の親子連れの皆さんにも参加していただいています。どうでしょう、皆さんがもっと楽しめる広場となればどれだけ良いかわかりません。例年になく早い梅雨入りでしたが、幸いにも、この地区では大雨に遭遇していません。しかしながら、山陰地方にも何年か前にあったように線状降水帯が停滞し、大きな被害を受ける可能性がないとは限りません。お互いに、いざという時の対応を考えていきたいものです。

避難経路の確認



非常用持ち出し袋の確認



お知らせ

あかえマルシェ

日時 7月23日(日)10:00~15:00

場所 赤江交流センター(全館)

赤江交流センターで一日限りのマルシェを開きます。赤江地区内外から約20のお店が集まって、採れたての野菜の他に、手作り小物、アクセサリ、食べもの・飲み物の販売をしたり、マッサージ等の美容コーナーもあります。お互いの交流を楽しみましょう。ご家族皆様さんでお出かけください。詳しくは6月の回覧をご覧ください。

ハートフル

Summer フェスティバル

日時 7月29日(土)14:00~16:00(開場13:30)

場所 赤江交流センター2階

昨年の冬に引き続き2回目となるファンタスティックドリーム・バンド主催の楽しいコンサートです。楽器演奏の他に漫談や安来高校弦楽部の皆さんの演奏もあります。

詳しくは6月の回覧をご覧ください。

